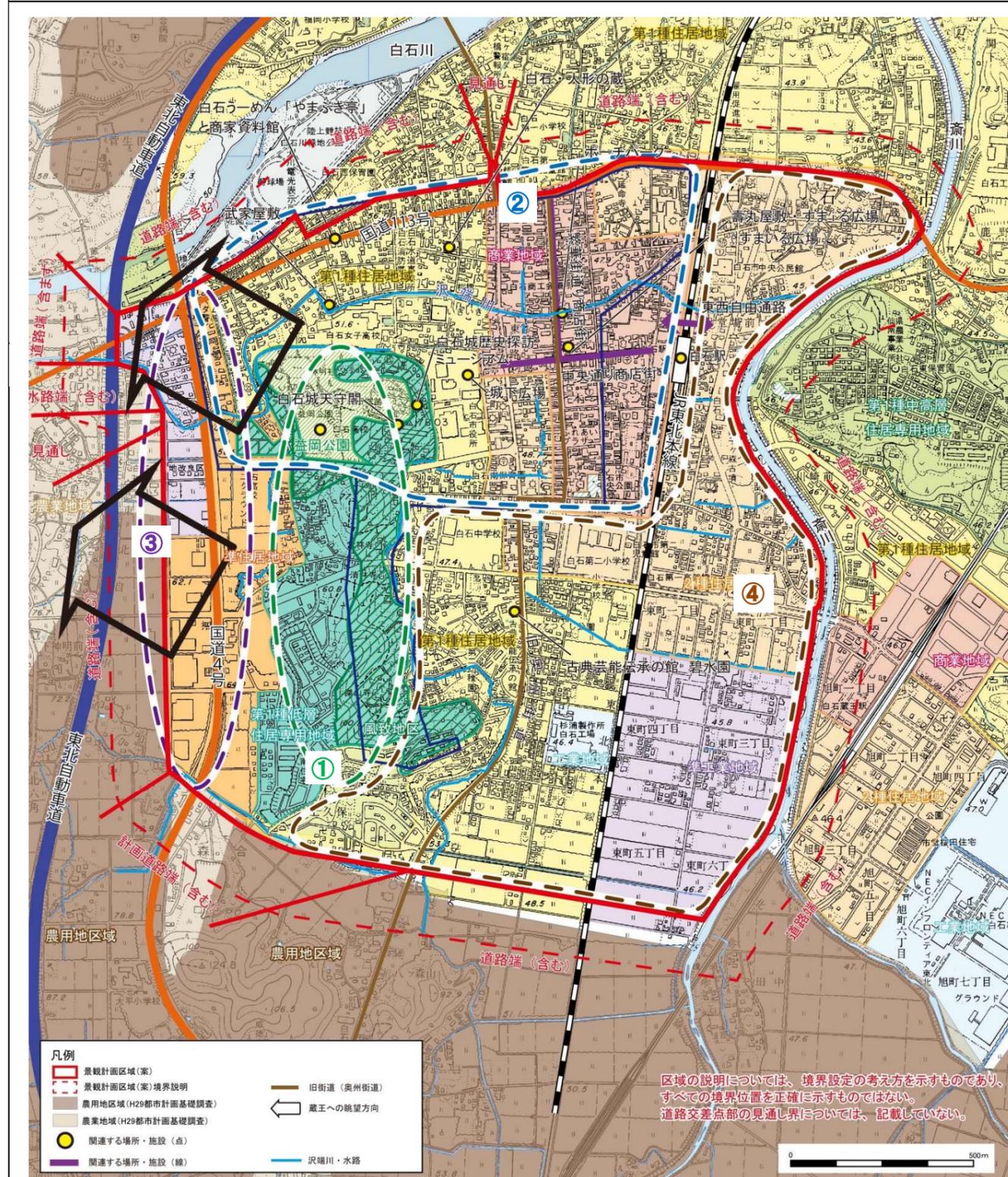


区域名	仙南地域広域景観計画区域	
地区名	白石市中心部地区	<p>・仙南地域を代表する白石城下町としての歴史性を継承するとともに、かつての奥州街道の白石宿の名残を活かし、白石市の中心を担う地域を対象に、魅力ある市街地の形成を図ることを目的とする。</p> <p>・白石市の中心部において、官民が協力・連携した景観まちづくりのきっかけづくりにつなげるとともに、白石市の顔づくりにふさわしい、一体性を持った市街地景観の形成を図ることを目的とし、景観計画区域を指定する。</p>
市町名	白石市	

区域の範囲（位置図）	地区内で見られる景観（景観の概況）
------------	-------------------



### ■仙南地域らしさを象徴する景観

- ・白石城の二の丸・三の丸や国道4号からは、蔵王連峰を遠景に望むことができる。
- ・丘陵部には木造建築による白石城が建ち、城下には豊かな水をたたえる堀や水路が巡る水辺と市街地が一体となった特徴的な景観が形成されている。
- ・武家地や旧奥州街道沿道の町場由来を残す旧城下町のエリアは、当時の町割りのまま市街地が形成されている。

### ■地区固有の景観

- ・益岡公園では、春には白石城天守閣と園内の桜が相まった、白石ならではの趣ある景観が形成されている。
- ・駅前には観光案内所や名産品である温麺の飲食店などがあり、町の玄関口としての景観が形成されている。
- ・国道4号沿いは大型商業店舗が並ぶ沿道景観が見られる。
- ・緑豊かな風致地区の東側では、田畑と住宅地が混在し、閑静な住宅地の景観と田園景観が見られる。

### 区域設定の考え方

#### ■基本的な考え方

仙南地域を代表する歴史的な都市である白石市の核であり、中世からの要衝であった白石城下町を中心に、仙南地域の大動脈である奥州街道の白石宿、また近代に入り鉄道網の整備に合わせ新たな玄関口を担うJR白石駅周辺にかけて白石市の中心部を対象に、景観まちづくりの観点から白石市都市計画マスタープランをふまえて、景観形成を通して一体的な市街地環境の保全・形成を目指した区域を設定する。

#### ■個別の考え方

##### ①城山から南に連続する丘陵地

市の中心を担う市街地の背景となる緑を有する風致景観として保全を図る必要があるため、区域に含めた。

##### ②白石城下町を中心とした市街地

蔵王連峰や白石市内を望むことができる白石城天守閣や一体で特徴的な景観を形成している白石城址公園、水辺と市街地が一体となった特徴的な景観を形成する掘割を含み、当時の町割を残す白石城と旧城下町の範囲は、景観の保全を図る必要があるため、区域に含めた。

また、都市の始まりである白石城下町を中心とした近代化の中で玄関口を担う白石駅周辺にかけての商業・住宅系市街地は、中心部における賑わいある市街地として、一体的な取組が必要であるため、区域に含めた。

##### ③城山の西を南北に通る国道4号沿い

移動に伴い蔵王への眺めを楽しめるエリアとして、沿道での大規模土地利用に対して周囲の景観との調和を求め必要があるため、区域に含めた。

##### ④白石駅南部・東部に広がる市街地

白石駅南部・東部に広がる市街地は、城下町や駅周辺商業地から連続する既成市街地である一方で、大規模工場跡地の利用や工業系地域における未利用地の計画的な土地利用誘導が求められる市街地である。そこで、白石市の中心部に広がる魅力ある市街地の形成に向けて、白石城下町及び白石駅周辺と一体となった景観形成の取組を通して、新たな魅力を創出する市街地環境の創出を目指したまちづくりの実現を目的に、中心部地区の区域に含めることとした。

区域内で見られる景観

●武家屋敷と掘割がある街並み

かつて城下町であった白石市の歴史性は、町なかに残る掘割や武家屋敷から垣間見ることができ、白石市の特徴的な歴史景観を形成している。掘割は今でも住民による清掃や定期的な管理が行われており、町なかに穏やかな水辺景観を形成している。



▲武家屋敷と掘割（図内赤矢印）

●白石城天守閣から望む蔵王連峰

白石城天守閣から西側をみると、手前は城山の雑木林で城下の街並みなどを見ることはできないが、遠景に蔵王連峰の山容が並び、雄大な自然景観を望むことができる。



▲白石城天守閣から望む蔵王連峰

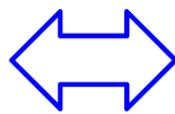
●白石城天守閣から望む白石市の街並み

白石城天守閣から東側では白石市の市街地を広く望むことができ、白石市と角田市とを隔てる丘陵地を背景に、低層の建築物を中心とした一体的な街並み景観が形成されている。



▲白石城天守閣から望む白石市の街並み

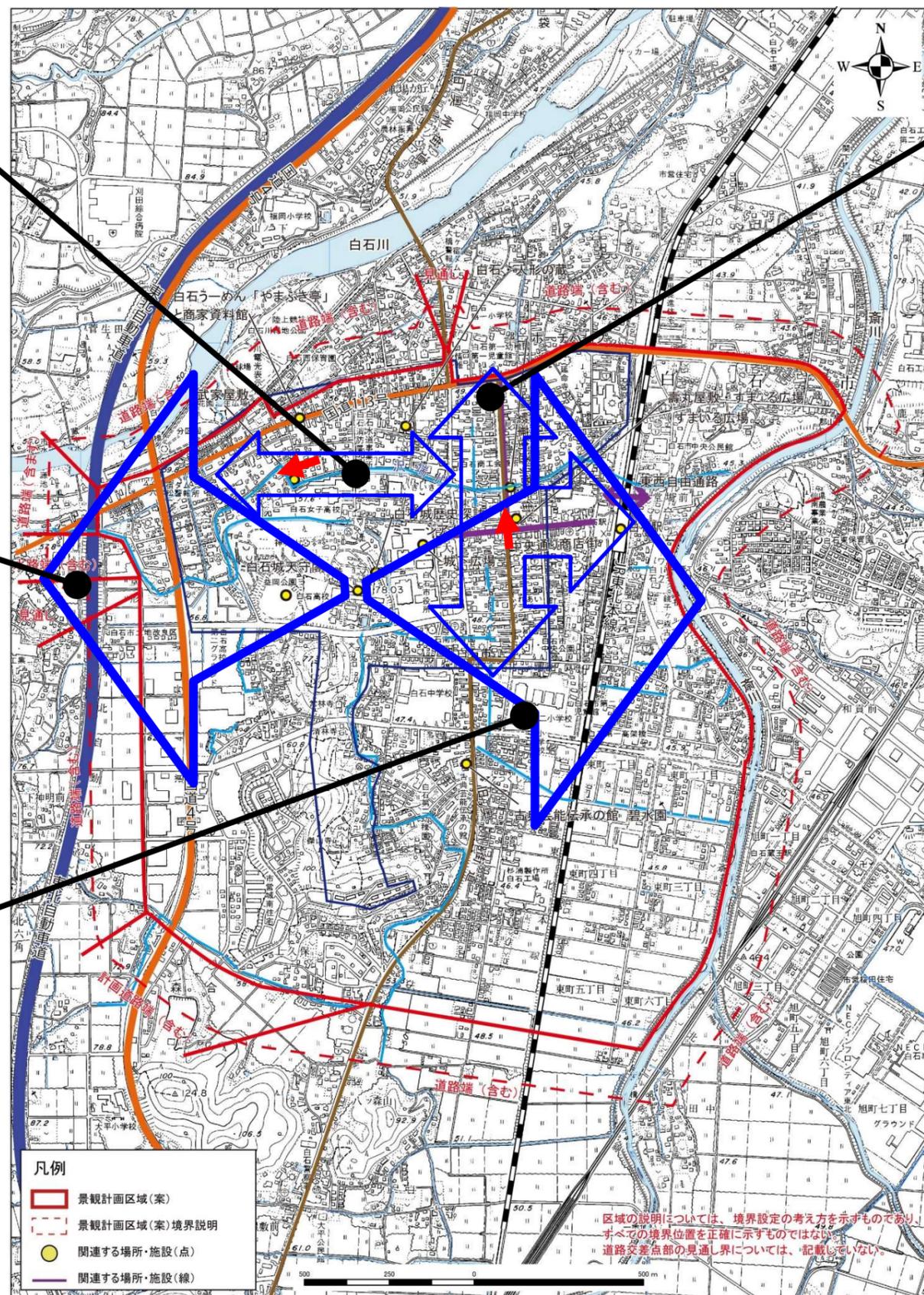
凡例



地域を象徴する景観が見られるおおよその範囲  
および向き



写真の撮影場所・エリアおよび写真の撮影方向



●白石市の玄関口である駅前周辺

近代化に伴い整備された白石駅は、遠方からの来訪者を迎える玄関口としての役割を担い、白石城下町までの道のりには商店街やイベント広場などがあり、賑わいある街並み景観を形成している。



▲商店街の様子（図内赤矢印）



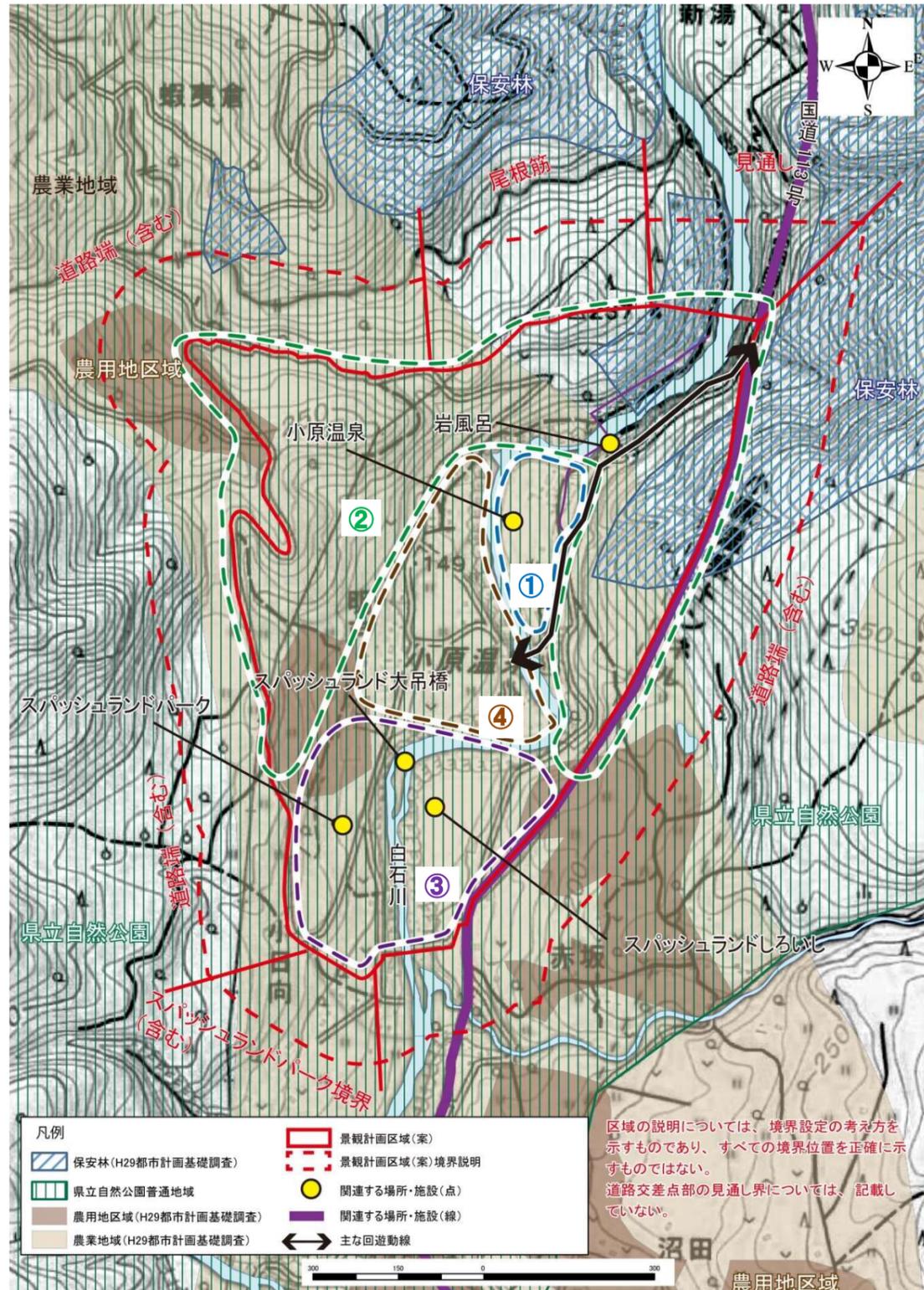
▲すまいる広場奥にある壽丸屋敷

区域名	仙南地域広域景観計画区域	
地区名	小原温泉地区	当該区域を指定する目的
市町名	白石市	

・県立自然公園が指定されていることをふまえ、自然公園と連携した、自然環境の保全と湯治場由来の営みを活かした景観まちづくりのきっかけとして、景観の保全・形成を図ることを目的とする。

・小原温泉およびその周辺において、人と地域資源がふれあう交流の拠点形成を図ることを目的とし、景観計画区域を指定する。

区域の範囲（位置図）



地区内で見られる景観（景観の概況）

■仙南地域らしさを象徴する景観

- ・蔵王山麓、白石川が創りだす谷地形の中に形成された湯治場由来の温泉地であり、川と木々が織り成す落ち着いた景観を形成している。
- ・スパッシュランドパークに設置された吊り橋からは、背景の樹林地、まとまりのある温泉街、白石川の流れを一望することができる。

■地区固有の景観

- ・温泉街の南側では、住宅と畑、水田による穏やかな農村集落景観が見られる。
- ・農村集落の南側に位置するスパッシュランドパークでは、シバザクラをはじめ、四季折々の美しい花による景観が見られる。

区域設定の考え方

■基本的な考え方

小原温泉を中心に、川と木々が織り成す落ち着いた景観と温泉街のにぎわいと農村集落の穏やかな景観が調和した景観形成を図るとともに、レクリエーション施設による一体的な景観の保全・形成を目指した区域を設定する。

■個別の考え方

①温泉街

白石市中心部から離れた白石川沿いの渓谷にある落ち着いた温泉街において、まとまりのある景観形成を図るため、区域に含めた。

②温泉街を取り囲む樹林地

温泉街の背景となる緑の景観として保全を図る必要があるため、区域に含めた。

③温泉街南側に位置するレクリエーション施設

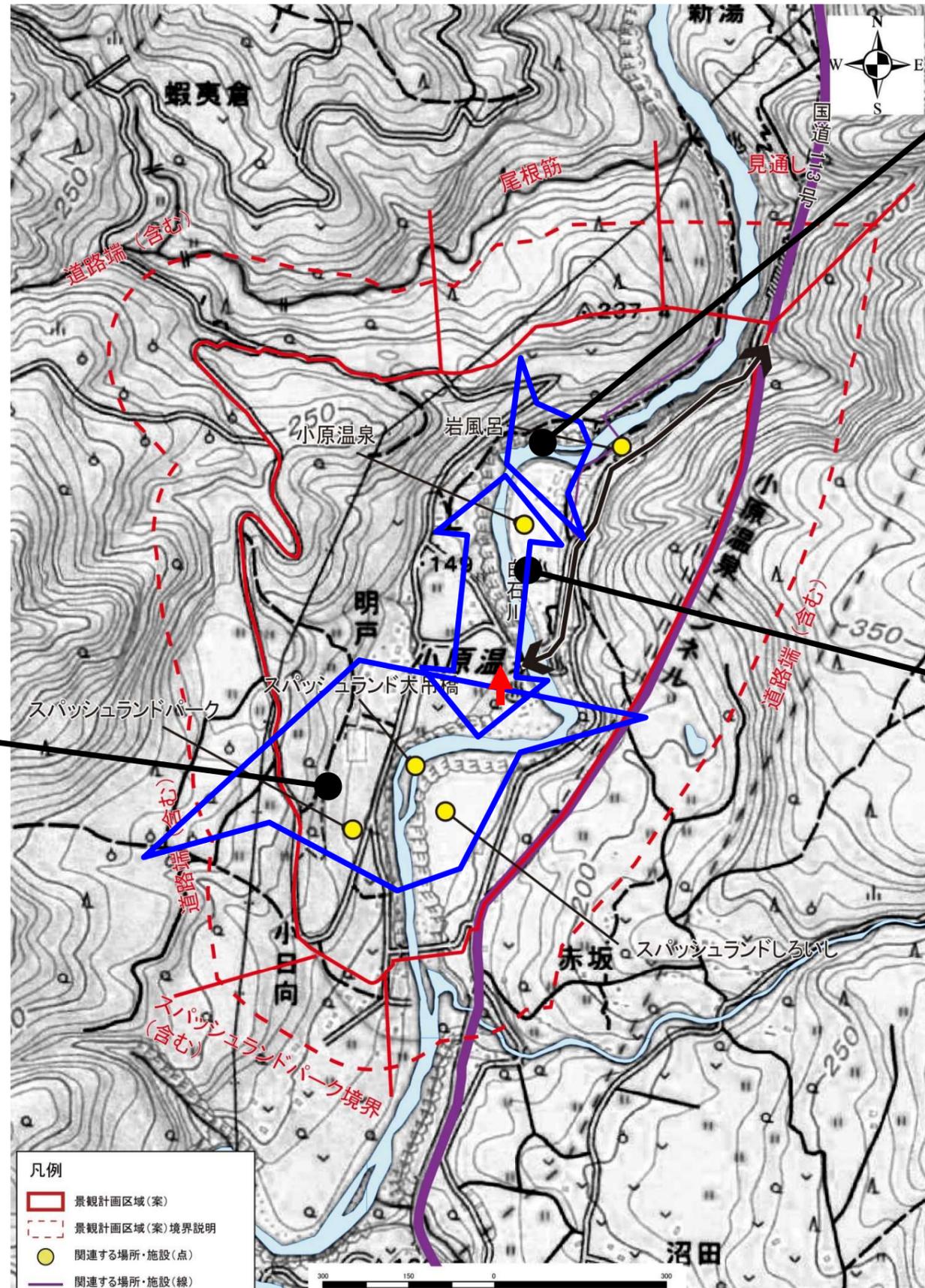
農村集落南側には、レクリエーション施設の「スパッシュランドしろいし」が整備されており、市民や来訪者が多く訪れることから、小原温泉街や周囲の山林との一体的な景観の調和を図るため、区域に含めた。

④温泉街とレクリエーション施設に囲まれた農村集落

住宅と畑、水田が混在する河川沿いの農村集落は、温泉街とレクリエーション施設の間に位置しており、これらと一体で景観形成を図る必要があるため、区域に含めた。

※本資料は、景観計画区域設定の考え方に特化して示したものであり、前回会議で示した景観計画の景観形成の目標像や景観形成方針等については、本資料の区域設定の考え方と合わせ、計画全体として今後示す。

区域内で見られる景観



●スパッシュランド白石

スパッシュランド白石は、温水プールなどのレクリエーション施設として一体的に整備されている。周囲は山林に囲まれた自然景観が見られ、スパッシュランド大吊橋からは白石川や溪谷の木々、小原温泉を望むことができ、自然と温泉街が作り出す特徴的な景観が見られる。また、スパッシュランドパークは白石川左岸に整備され、季節の花々が咲く彩りある景観を形成している。



▲スパッシュランドパーク

●白石川と溪谷の眺め

小原温泉の北側には遊歩道があり、白石川を間近に見ることができる。当該地区内では、白石川流域は深い溪谷になっており、川の左右を切り立った山林に囲まれ、白石川の流れが生み出した溪谷と周囲の山林による豊かな自然景観が形成されている。



▲白石川と溪谷

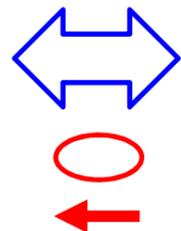
●小原温泉街

小原温泉は、国道113号から溪谷に下りた場所にある山林に囲まれた温泉街である。温泉宿と民家等がまとまって立ち並び、閑静な温泉地の街並み景観が形成されている。



▲温泉街内の様子（図内赤矢印）

凡例



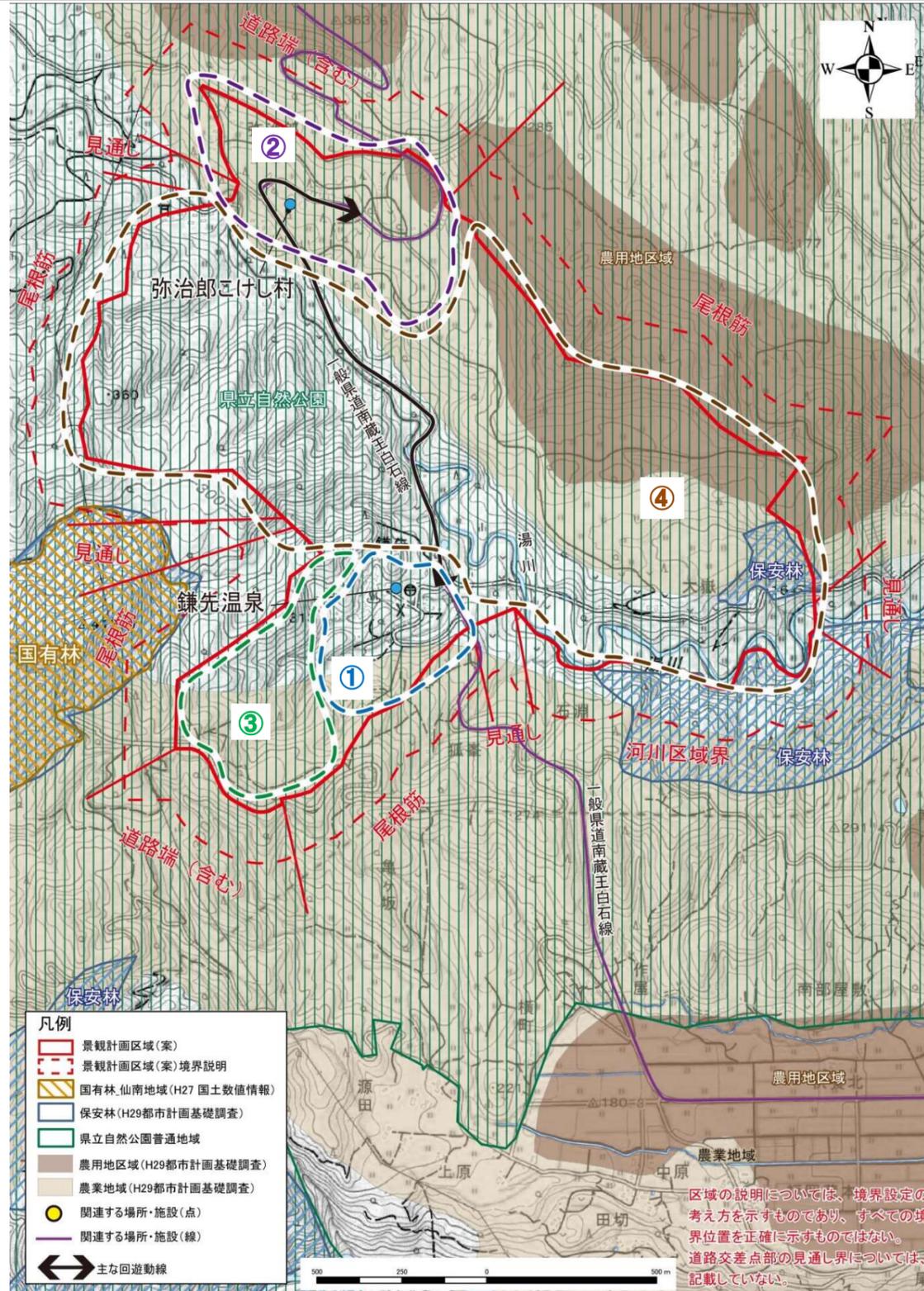
地域を象徴する景観が見られるおおよその範囲および向き  
 写真の撮影場所・エリアおよび写真の撮影方向

凡例

- 景観計画区域(案)
- - - 景観計画区域(案)境界説明
- 関連する場所・施設(点)
- 関連する場所・施設(線)

<b>区域名</b>	仙南地域広域景観計画区域	
<b>地区名</b>	鎌先温泉地区	<b>当該区域を指定する目的</b>
<b>市町名</b>	白石市	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立自然公園が指定されていることをふまえ、自然公園と連携した、自然環境の保全と湯治場由来の営みを活かした景観まちづくりのきっかけとして、景観の保全・形成を図ることを目的とする。</li> <li>・ 鎌先温泉およびその周辺において、人と地域資源がふれあう交流の拠点形成を図ることを目的に、景観計画区域を指定する。</li> </ul>		

<b>区域の範囲（位置図）</b>	<b>地区内で見られる景観（景観の概況）</b>
-------------------	--------------------------



**■仙南地域らしさを象徴する景観**

- ・ 蔵王山麓で古くから湯治場として栄えた温泉地で、山間の木々の中、路地と旅館が一体となり、かつての湯治場の面影を残す趣深さを感じさせる景観が見られる。
- ・ 土産物として親しまれているこけし製造の文化の継承による木地師集落の面影を残す集落の景観が見られる。

**■地区固有の景観**

- ・ 一般県道南蔵王白石線の沿道からは、温泉街の東側を流れる湯川の流れにより形成された谷地形による木々に囲まれた圍繞景観が見られる。

**区域設定の考え方**

**■基本的な考え方**

まとまりのある温泉街を形成している鎌先温泉を中心に、川と木々が織り成す落ち着いた景観と温泉街のにぎわいと農村集落の穏やかな景観が調和した景観形成を図るとともに、レクリエーション施設による一体的な景観の保全・形成を目指した区域を設定する。

**■個別の考え方**

**①温泉街**

複数の温泉旅館により、木々に囲まれた情緒のある趣深さを感じさせる温泉街において、まとまりのある景観形成を図るため、区域に含めた。

**②木地師集落の面影を残す集落と伝承施設**

かつての木地師集落は、水田を中心とした農地と集落内の建築物による穏やかな農村集落景観を形成しており、こけし文化を活用し、人と地域資源がふれあう交流の拠点形成を図るために、区域に含めた。

**③温泉街西側の樹林地**

温泉街の背景となる緑の景観として保全を図る必要があるため、区域に含めた。

**④湯川沿いの樹林地**

温泉街と伝承施設を結ぶ一般県道南蔵王白石線において、沿道の宅地利用における景観への配慮を求めるとともに、湯川沿いの谷地形による樹林地を一体的に保全できるよう区域を設定することにより、温泉街、木地師集落と一体的に景観形成を図るため、区域に含めた。

※本資料は、景観計画区域設定の考え方に特化して示したものであり、前回会議で示した景観計画の景観形成の目標像や景観形成方針等については、本資料の区域設定の考え方と合わせ、計画全体として今後示す。

●弥治郎こけし村

弥治郎こけし村は、鎌先温泉の北側に位置し、かつての木地師集落とこけしの文化を今に伝える施設である。こけしの初挽きは白石市の年始行事として、弥治郎こけし村の木地師によって行われる。

弥治郎こけし村の周囲には、水田や家屋が点在し、木地師たちが開墾して暮らしてきた集落の文化が残る農村集落の景観が形成されている。



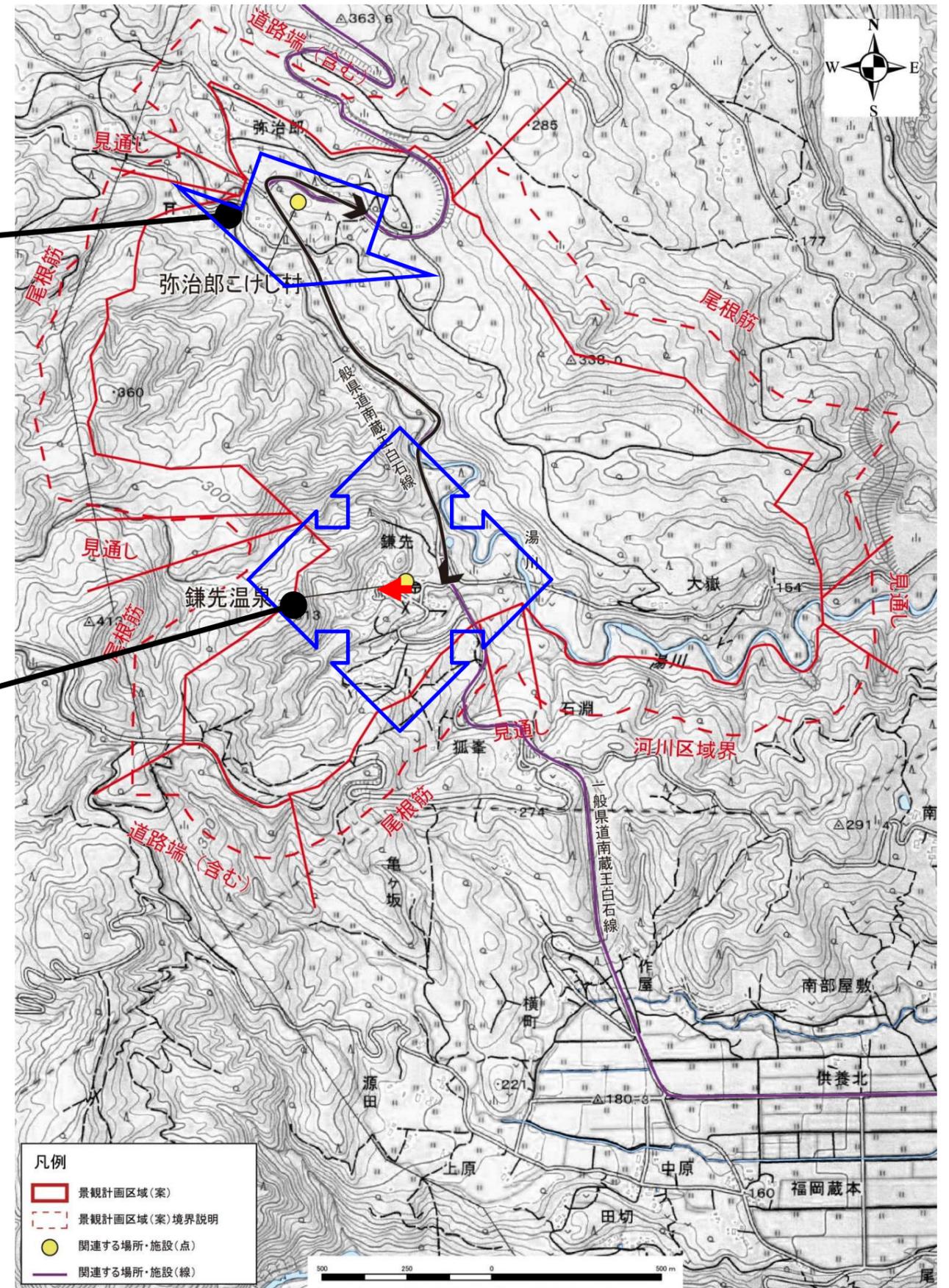
▲弥治郎こけし村

●鎌先温泉

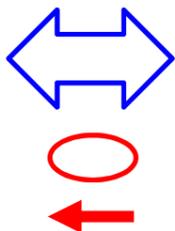
山あいにはっきりと佇む鎌先温泉は、観光地としてのみならず古くから湯治場として人々に親しまれた温泉街である。四方を山林に囲まれた自然豊かな中に、温泉宿が立ち並んだひとまとまりの景観が形成されている。



▲鎌先温泉街の様子（図内赤矢印）



凡例



地域を象徴する景観が見られる  
おおよその範囲および向き

写真の撮影場所・エリアおよび  
写真の撮影方向

凡例

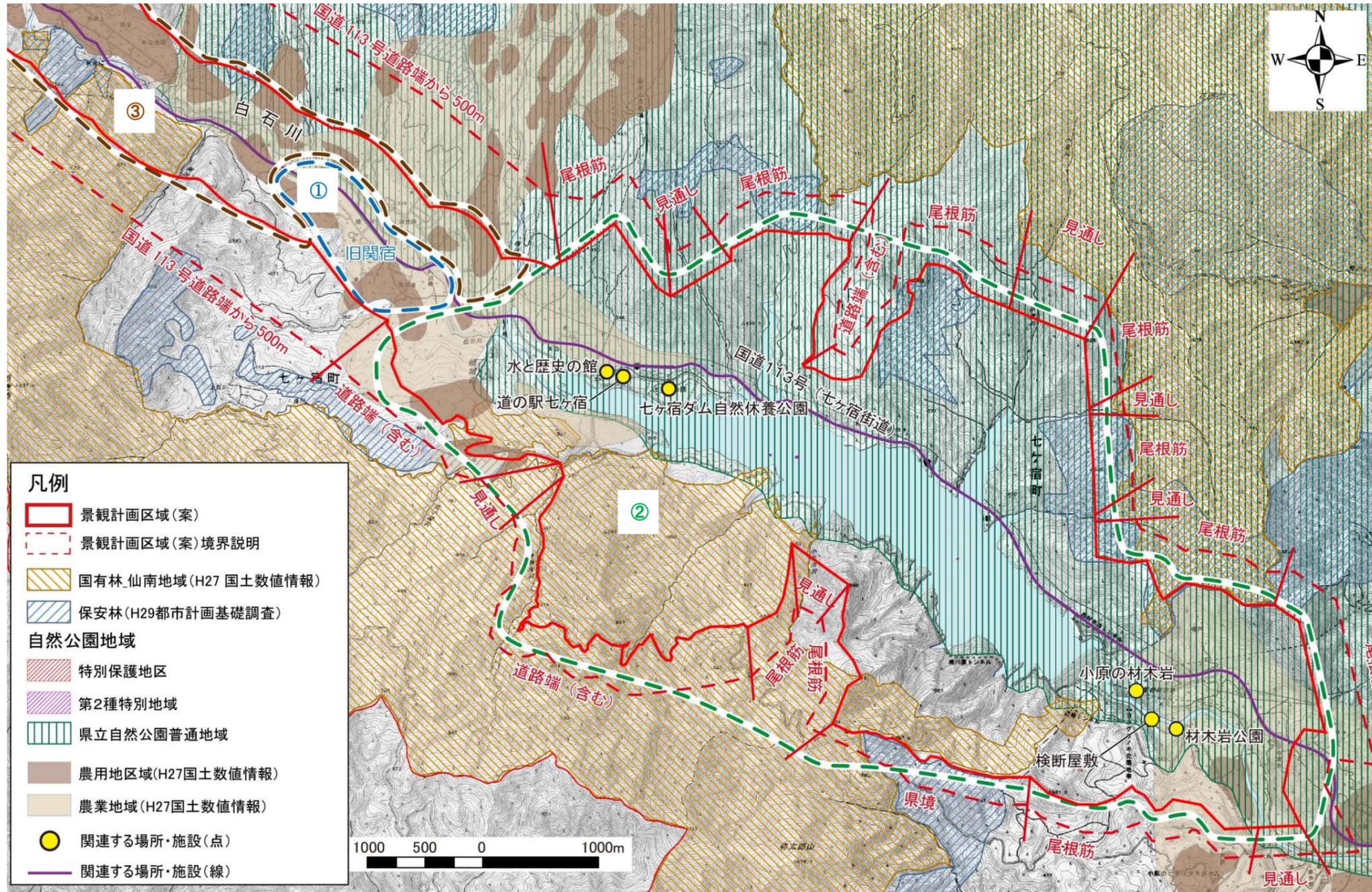
- 景観計画区域(案)
- 景観計画区域(案)境界説明
- 関連する場所・施設(点)
- 関連する場所・施設(線)

区域名	仙南地域広域景観計画区域	
地区名	七ヶ宿湖・七ヶ宿街道地区	当該区域を指定する目的
市町名	白石市、七ヶ宿町	

・県立自然公園として保全・活用が図られている七ヶ宿湖から七ヶ宿町の集落にかけて、白石川の流れをはじめとした自然と、かつての宿場町を担った集落地、それを結ぶ旧街道である国道が連続する。これら自然景観の保全と沿道景観の調和を図ることを目的とする。

・また、かつての七ヶ宿街道である国道 113 号を軸に展開されている景観づくりやまちづくりの取組のきっかけづくりとなるよう、景観計画区域の指定による景観の保全・形成を図る。

区域の範囲（位置図）



※仙南地域広域景観マスタープランの修正に伴い区域を精査

地区内で見られる景観（景観の概況）

- 仙南地域らしさを象徴する景観
- 白石川の上流に整備された水源地である七ヶ宿湖では、自然休養公園や道の駅等の来訪者施設が整備され、ダム湖の周囲ではレクリエーション施設と広大な水面とそれを取り囲む山並みによる雄大な自然景観が一体となった景観が見られる。
  - 七ヶ宿湖の下流側では、蔵王の活動と白石川の流れが創り出した材木岩を中心とした自然景観が見られる。
  - 七ヶ宿町の中央を通るかつての七ヶ宿街道である国道 113 号を軸に、宿場町由来の集落が点在する。また、町の西から東へと流れる白石川と木々、集落が一体となった穏やかな景観が見られる。沿道から見ることが出来る景観は、水田を中心とした農地の広がりや道路まで迫る山地の緑、国道 113 号と並走する白石川等、場所ごとに変化する多様な景観が見られる。
- 地区固有の景観
- 湯原宿では、ふるさと体験交流館、民泊施設、直売所等が立地しており、その背後に里山が迫る山間部集落の景観が見られる。
  - 峠田宿では、町場と白石川の距離が特に近く、水と町場による一体的な景観が特に魅力的なものとなっている。
  - 滑津宿では、歴史資源を中心とした街並み景観が形成されている。
  - 関宿では、町役場が立地し、国道 113 号沿道には店舗が立ち並ぶなど町の中心市街地としてにぎわいのある景観が見られる。また、住宅地の背後には小規模な畑地が見られ、特徴ある集落景観が見られる。
  - 七ヶ宿町では官民協働で宿場町時代を再現する屋号看板の設置が進められており、これが沿道景観の形成に寄与している。

## 区域設定の考え方

### ■基本的な考え方

貴重な水源地である七ヶ宿湖から、七ヶ宿街道である国道113号沿いに点在する集落にかけて形成される七ヶ宿町の中心を担う区域を含めた。

屋号看板再生の取り組みや、そば街道、七ヶ宿街道を歩くイベントであるわらじで歩こう七ヶ宿等、街道沿いやその周辺をテーマにしたまちづくり活動が展開されていることから、景観づくりの観点からまちづくり活動を支援するきっかけづくりとして、七ヶ宿街道周辺を連続して区域を含めた。

### ■個別の考え方

#### ①七ヶ宿湖とその周囲

ダム湖である七ヶ宿ダムは、自然休養公園や道の駅等の来訪者施設が整備され、広大な水面とそれを取り囲む山並みによる雄大な自然景観を有している。さらに、下流側では蔵王の活動と白石川の流が創り出した材木岩を中心とした自然景観が見られ、その周辺でも材木岩公園等が整備されていることから、湖を中心とした景域として、湖面、その周囲を取り囲む山並み、レクリエーション施設を含む範囲を区域を含めた。

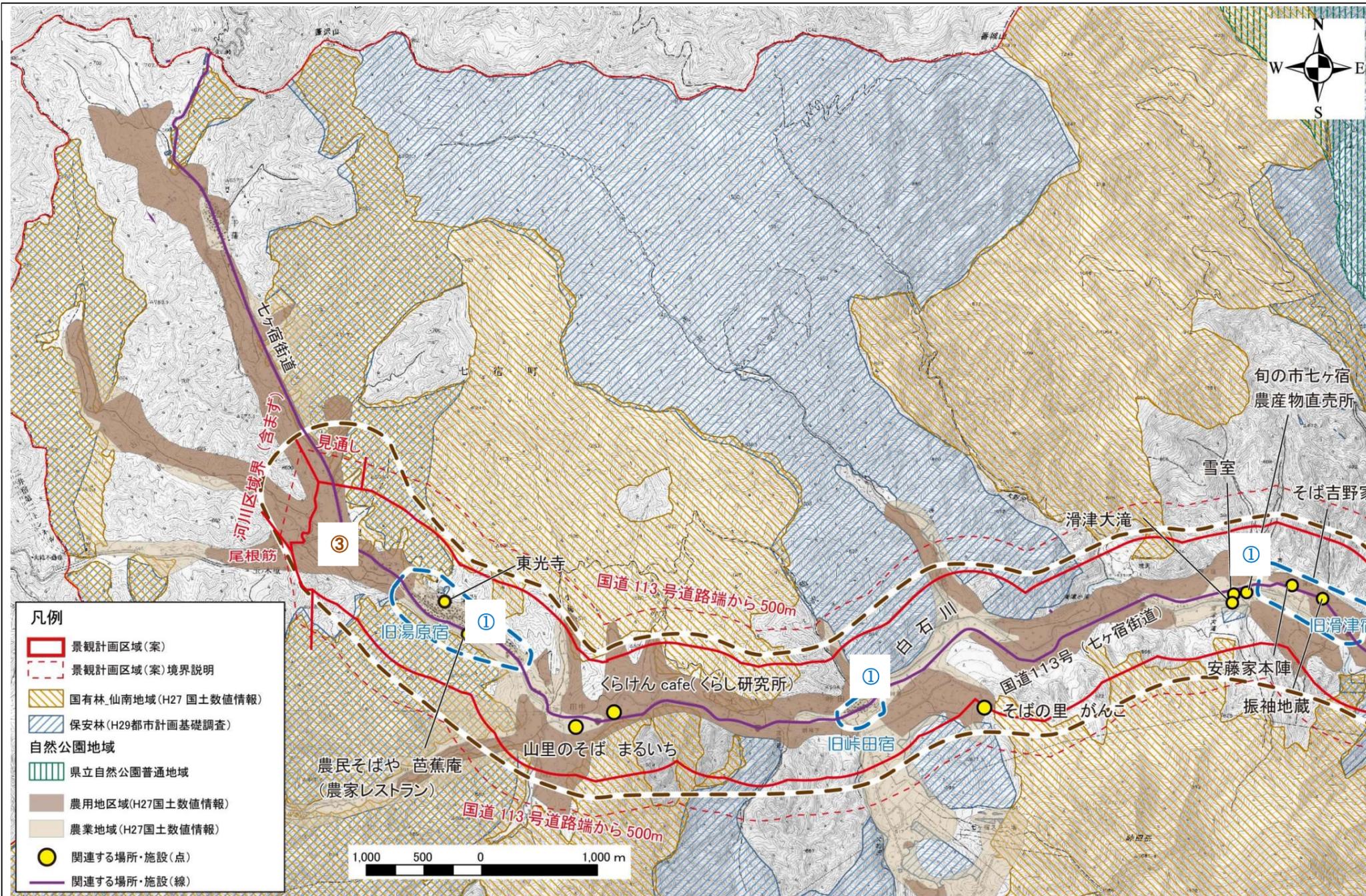
#### ②旧宿場町

七ヶ宿街道沿いに形成された4つの宿場町については、白石川の流れと木々、集落が一体となった穏やかな景観が見られる。また、宿場町毎にそれぞれ特徴ある景観を有していることから、それぞれの町の歴史性を伝える特徴を保全・活用したまちづくりの取り組みもふまえ、区域を含めた。

#### ③国道113号(旧七ヶ宿街道沿道)及びその周囲

七ヶ宿湖と各宿場町を結ぶ七ヶ宿街道沿道においては、源流地である鏡清水からの白石川の流れにより形成された地形を土台とした狭い谷地が形成され、両側を山々に囲まれた穏やかな景観を形成している。沿道から見ることが出来る景観は、水田を中心とした農地の広がりや道路まで迫る山林等による山林景観等、場所により趣きの異なる多様な景観が形成されている。この移動に伴い変化する景観に対して、連続して調和を求めるために、沿道から一定距離(近景:500m※)内の範囲を区域を含めた。

※国土技術政策総合研究所資料 道路環境影響評価の技術手法に示される近景の距離。ここでは、近景=対象の要素やディテールが目につきやすい領域とされている。



※仙南地域広域景観マスタープランの修正に伴い区域を精査

区域内で見られる景観

●七ヶ宿ダムの眺め(上流)

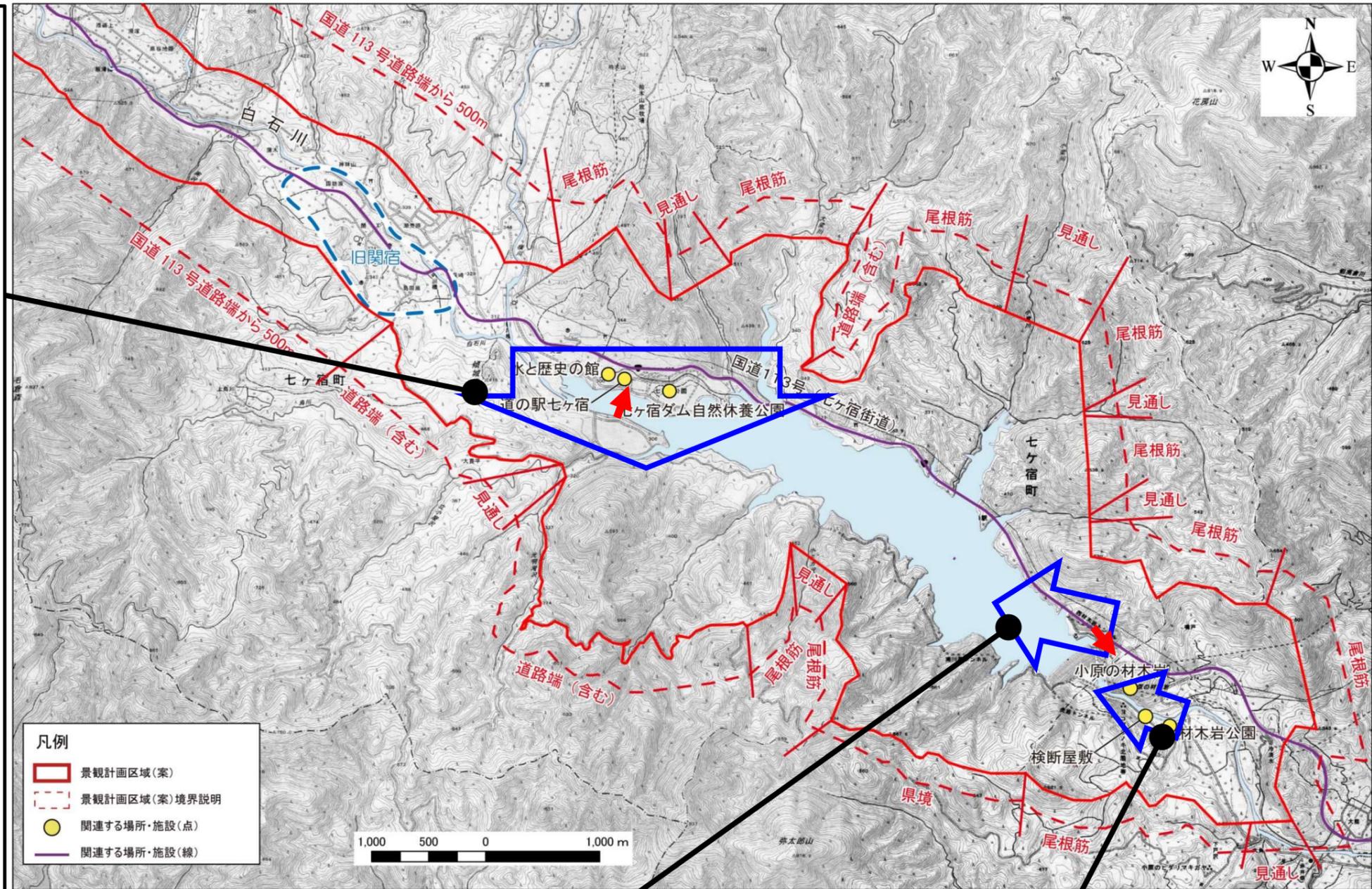
七ヶ宿ダム上流には、道の駅七ヶ宿や水と歴史の館、自然休養公園が整備され、七ヶ宿ダムや周囲の山林とともに穏やかな憩いの景観が形成されている。自然休養公園の駐車場やダムの向こう岸に渡る七ヶ宿大橋からは、ダムの広大な水辺と周囲の山林が創り出す雄大な自然景観を望むことができる。



▲自然休養公園からの七ヶ宿ダムの眺め



▲七ヶ宿ダム北側からの眺め (図内赤矢印)



凡例	
	景観計画区域(案)
	景観計画区域(案)境界説明
	関連する場所・施設(点)
	関連する場所・施設(線)

●七ヶ宿ダムの眺め(下流)

ダム下流は、ダムの堤体から七ヶ宿ダムを望むことができ、周囲の山林とともに雄大な水辺と自然の景観を形成している。

また、堤体から下流にある材木岩公園も望むことができ、七ヶ宿ダムの雄大で迫力あるダムの景観がみられる。



▲ダム堤体からの眺め



▲ダムの洪水吐からの水流と材木岩公園 (図内赤矢印)

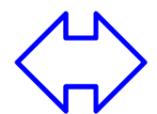
●小原の材木岩と材木岩公園

ダム堤体下には、岩肌が木のように見える材木岩があり、その周辺は材木岩公園として整備され、特徴的な材木岩とダムから放流された水が流れる白石川の自然景観とともに憩いの場としての景観が形成されている。



▲材木岩と白石川の眺め

凡例



地域を象徴する景観が見られるおおよその範囲および向き



写真の撮影場所・エリアおよび写真の撮影方向